



発行所
道前会
愛媛県西条市明屋敷 234
愛媛県立西条高校内
電話・FAX 0897-53-2192



(新) 体育館

新年度も二ヶ月が過ぎ、暑さへの対処が求められる季節となりました。会員の皆様には益々ご清栄のことと拝察いたします。また日頃からの道前会へのご支援、ご協力、ご鞭撻に深く感謝もつしあげます。

母校の生徒たちは、年度末に完成した立派な体育館で、授業や部活動その他諸行事等に嬉々として取り組んでおります。

道前会の主な事業は、母校生徒に対しては入学時の母校を紹介する絵葉書セットの配布、部活動振興のため創った全国大会出場祝い金(本年より全校生徒の前で学校長が渡す)、市の文化会館を使って毎夏に行う文化部発表会への支援、文化祭時の道前会コーナー開設、卒業時の道前賞(以上本会独自)や記念品贈呈などであります。加えてまして昨年は故近藤恒年氏(二十一回)の息女河田雅代様から高額寄付を受け、今年度から優秀な大学進学者への奨学金として使用しています。会員に対しては支部への会費補助、毎年発行の会報、卒業五十年会員の卒業式招待、同期会等への



第8代会長
村上 俊行
(58回)

いあいさつ

支援協力などがあり、他校同窓会が行っていない本会独自の多くの取り組みで他校の参考になっております。

さて、本年は役員改選の年でありましたが、周年事業の途中でもあり留任することとなりました。非力ではありますが役員の方々と一体となって頑張ります。会員の皆様の一層のご支援ご協力をお願いいたします。道前会は前記のように他校やその同窓会が羨ましがらる活動をしておりませんが、これらは会費で実施できております。現在の会費納入者は年約二千名で予定の周年事業への積み立てなど論外で、前記事業の実施さえ見直しを迫られております。入会金も生徒数減で多いときの約半分になっております。会費納入者三千人以上を見込んでの各種事業です。会費の納入につきまして、伏してご協力をお願いいたします。

創立百二十周年事業につきましては、綴帳や椅子につきまして数社の応募を頂きましたが、道前会員の企業に決まりました。綴帳に描く絵につきましては、フランスで活動している本校六十三回卒業の日浅和美氏が特別に描いてくれた「私の内なる石鎚」に決まり、本人からご寄贈頂きました。現在その綴帳の製作中でありまして、寄付につきましては三月末現在概算千二百人の方から約六百五十万円頂いております。早々にご協力頂き誠に有難うございました。

清々しい五月晴れの快い季節もそろそろ終わりを告げ、梅雨の候となりました。全国の道前会の皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、私事ではありますが、昨年度本校に赴任し、今年度で二年目を迎えております。今年度は本校にとりまして、創立百二十周年の節目を迎える大切な年であり、学校としても更なる新しい第一歩を踏み出したいと考えております。どうぞご支



第35代校長
石崎 学

いあいさつ

た。ただ私たちの配慮不足で振込用紙に一口の金額を記入したため、必要な額にはとても届かない金額になっております。改めまして可能な範囲で複数回数でのご協力をお願いいたします。尚関連行事である記念式典、記念文化祭、合わせての道前会総会は別記のように決定いたしております。

お願いばかりのご挨拶になりましたが、何卒宜しく願いたします。

皆様の益々のご健勝ご活躍ご多幸をお祈りいたします。

援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

ところで、私は本校卒業生ではありませんし、過去本校で勤務した経験もありません。その私が、本校に勤務したことがきつかけで、私の伯父の知らなかつた情報を得ることができ、本校との不思議な縁を感じております。それを紹介したいと思います。

本校の大手門から入って左の方向に、伊藤五百亀氏制作の戦没同窓生慰霊碑（荒鷲碑）があります。これは、昭和十九年十月二十五日に神風特別攻撃隊（敷島隊）隊長として、初めての攻撃を実行した関行男氏（第三十九回卒）をはじめ、他の戦没者の霊をも合わせて建立された慰霊碑です。ちょうど昨年の十月二十五日で七十年目となりました。その関係からか、海外戦没者慰霊ツアーを実施している旅行者から、ぜひ慰霊碑を拝礼したいとの申し出がありました。恥ずかしいことですが、この石碑について、私は十分認識しておらず、関氏のことを調べました。そして、関係サイト

イトに多くの戦没者の氏名や死亡状況が掲載されていることを知りました。

実は、私には戦死した伯父がいます。小さい頃から、墓参りの度に、両親から伯父は飛行機に乗っていたことを聞かされてきました。私は今まで、伯父のことを全く調べたこと



金子元太郎先生像から見た荒鷲碑

はありませんでした。しかし、関係サイトを見ているうちに、もしかしたら伯父のことも分かるのではないかと思い検索しました。そして、多くの情報を得ました。伯父は、第五百二十三海軍航空隊に属し、昭和十九年三月三十日、テニアン島からペリリュー島沖に出撃し、「被弾自爆」したとのことでした。私は、今まで知らなかつた伯父の最後の様子を、本校に赴任したことから知ることができ、本校との不思議な縁を感じました。まるで関氏が、伯父のことを知らせようと案内してくれたように感じました。

戦没同窓生慰霊碑の正面右の方向に、金子元太郎先生像があります。関氏は本校在学中、「金子賞」を何度も受賞したそうです。二つの石碑を見ていると、まるで金子先生の授業を関氏が受けているかのように見えます。もしかしたら、伯父も近くにいたのかもしれない。授業を楽しみながら、本校の発展と日本の平和を見守り続けてほしいと思います。

部活動状況

特活課長 伊藤 栄一

部活動に加入している生徒は、全校生徒の90・3%余りで、文武両道を多くの生徒が体現し、有意義な高校生活を送っています。

全国大会には下記の通り多くの部が参加しました。その中で簿記部女子個人で上位入賞。美術部女子2名が全国高文祭で好成績を収めることができました。運動部においては、県高校総体に206名が参加しました。

主な結果では、ソフトボール部、弓道部女子団体の優勝を筆頭に、陸上部、ソフトテニス部女子個人でインターハイに駒を進めることができました。四国高校総体においても、弓道部男子個人優勝、ソフトボール部準優勝と健闘しました。また、全国選抜大会では、弓道部女子団体3位、ソフトボール部の全国大会出場と活躍しています。国民体育大会でも弓道部男子1名が、愛媛選抜チームで5位入賞の栄誉に輝きました。

野球部は、夏の選手権大会では、準決勝まで勝ち上がり、生徒はもちろん西条市民の期待を一身に受け、立派に戦いました。惜しくも敗れてしまい、甲子園出場の夢は果たせませんでした。最後まで全力でプレーした選手

には、勇気をもらったような気がしました。

文化部では、美術部、合唱部が全国高文祭につながる作品を発表。簿記部の全国大会上位入賞と、今年度も美術部、合唱部、簿記部を中心に文化部の活躍が見られました。

なお、本年度も全国大会に出場するにあたり、道前会よりその都度御芳志を賜りました。まことにありがとございました。

また、道前会にも協賛していただきました恒例の芸術文化発表会も、8月13日に西条総合文化会館で美術部・書道部・写真部が展示発表、ダンス部・日本音楽部・合唱部・吹奏楽部がステージ発表しました。多くの方々に来場していただき、感動のうちに18回目を終えることができました。部員たちはこの発表会を励みに練習に打ち込んでいます。次回も8月13日に実施する予定です。御観覧いただき、励ましをいただければ幸いです。

校訓の文武両道の精神のもと、部活動や勉学に励む、心身ともに成長した生徒を育てたいと思えます。道前会の皆様におかれましては、今後とも暖かいご声援をいただきますようお願い申し上げます。

全国大会出場者

〔体育関係〕

- 全国高等学校総合体育大会 (北関東 26年7・8月)
- ソフトボール部 女子
- ソフトテニス部 女子1ペア
- 陸上競技部 女子100mH 1名
- 弓道部 女子団体 男子個人 1名
- 国民体育大会 (長崎県 10月)
- 弓道部 愛媛県少年男子選抜 1名
- 全国選抜大会
- 弓道部 女子団体
- ソフトボール部 女子 (鹿児島県 1月)
- ソフトテニス部 女子 (山口県 27年3月)

〔文化関係〕

- 全国高等学校簿記コンクール (東京都 7月) 3名
- 簿記部 女子
- 全国高等学校総合文化祭 (茨城県 7月) 2名
- 美術部 美術工芸部門 女子

〔定時制関係〕

- 全国高等学校定時制通信制体育大会 (東京都 26年8月)
- 陸上部 男子 2名
- 卓球部 男子 2名
- ソフトテニス部 (ベスト16) 男子 2名
- ソフトテニス部 女子 2名

進路状況

平成 26 年度 卒業生

平成 27 年 4 月 14 日現在

進路課長 田口公弘

進路(決定)状況		大 学					準大学	短 大			専門 学校	内 予備校	家事 手伝等	就職	合計	
		国立大	公立大	国公立 計	私立大	計		国公立	私立	計						
平成 26 年度 卒業生	普通科	男	27	7	34	49	83			0	21	8		1	105	
		女	33	19	52	41	93		4	4	8	22	1	1	2	126
	理数科	男	5	1	6	1	7			0	3	3				10
		女	2	2	4	1	5			0						5
	商業科	男			0	8	8			0	1				5	14
		女	1		1	6	7			1	12				6	26
計	男	32	8	40	58	98	0	0	0	25	11	0	6	129		
	女	36	21	57	48	105	0	4	5	9	34	1	1	8	157	
過年度 卒業生	男	1	3	4	7	11			0	4	2				15	
	女			0		0			0						0	
合 計	男	33	11	44	65	109	0	0	0	29	13	0	6	144		
	女	36	21	57	48	105	0	4	5	9	34	1	1	8	157	

進路(合格)状況		大 学					準大学	短 大			専門 学校	内 予備校	家事 手伝等	就職	合計	
		国立大	公立大	国公立 計	私立大	計		国公立	私立	計						
平成 26 年度 卒業生	普通科	男	29	10	39	117	156			3	3	21	8	1	181	
		女	33	20	53	123	176		7	8	15	34	1	1	3	229
	理数科	男	5	1	6	4	10			0	3	3				13
		女	2	2	4	2	6			0						6
	商業科	男			0	8	8			0	1				5	14
		女	1		1	8	9			1	12				6	28
計	男	34	11	45	129	174	0	0	3	3	25	11	0	6	208	
	女	36	22	58	133	191	0	7	9	16	46	1	1	9	263	
過年度 卒業生	男	2	3	5	27	32			0	4	2				36	
	女			0	4	4			0						4	
合 計	男	36	14	50	156	206	0	0	3	3	29	13	0	6	244	
	女	36	22	58	137	195	0	7	9	16	46	1	1	9	267	

新たに二百六十四名の新入生を迎え(今年度入学生から普通科がクラス減となりました。平成二十七年がスタートしました。三年生は朝早くから夜遅くまで、自らの進路実現のため学習活動に励んでいます。

さて、今春の西条高校の進学状況ですが、国公立大学の合格延べ数は百八名(浪人生五名を含む)に達しました。内容におきましても名古屋大学、大阪大学、神戸大学などの難関大学に合格しております。また愛媛大学医学部医学科に合格するとともに、プロック大である岡山大学に四名の合格と健闘しています。地元愛媛大学にも十八名の生徒が見事合格しました。商業科におきまして、国公立大学に一名合格したのを始め私立大学に十六名、短期大学に一名、専門学校に十三名合格しております(以上延べ数)。また就職は近年求人数が減少しており苦戦を覚悟しておりますが、公務員四名を含み合計十四名、希望者全員無事就職することができました。

ここで、今年度の入試状況の分析をしてみます。一月十七日十八日に行われた大学入試センター試験におきましては、平均点は九百点満点で文系は前年度差+8、4点とやや易化、理系は+0、1点と昨年並みでした(ベネッセ調べ)。新課程先行実施教科である数学・理科の初年度入試でしたが、「数学・数学B」で前年度差-14、63点、また物理と生物の平均点で二十点以上の差がついたことにより1990年のセンター試験開始以降二回目の得点調整が十七年ぶりに行われるなど多くの受験生にとって波乱の試験となりました。

根強い国公立大人気の中、国公立大志願者は前年比21%減で、日程別でも前期・中期・後期のいずれでも志願者を減らしました。系

統別では国際関係が大幅増加、法学が増加、理系の系統はすべてで減少と一時期の「文低理高」は沈静化したといえる入試でした。

私立大学入試では延べ志願者数は微増で、9年連続増加の見込みです。その要因として、国公立大学入試におけるセンター試験の理科の負担増を嫌って私立大志願者が増加したことや、国公立大志願者も理系を中心に厳しかったセンター試験結果を踏まえて、私立大の併願校数を増やす動きがあったことが考えられます。入試方式別に見てみますと、複雑化が進む一般方式(全学部入試や英語における外部試験を用いた入試方式の導入など)が増加し、センター利用方式は頭打ちになりました。また、国公立大学と同様に近年の極端な「文低理高」の傾向は沈静化し文系系統での増加傾向が目立ちました。

ここ数年の本校生徒の傾向として、無理をして浪人をするよりも、早く、確実に、近くで合格を決められる大学を目指しているようです。また、推薦入試、AO入試を利用する生徒も数多くおり、それに伴い本校でも受験シーズンには通年化してきています。本校におきましても、生徒一人ひとりが第一志望校に合格できるよう、学業のみならず小論文や面接の個別指導など、きめ細かく対応しております。

大手門を巣立っていかれた数多くの諸先輩の皆様と同様に、勉強やさまざまな試験に打ち勝った成果が今まさに現れようとしております。これからも母校の進路指導に御理解をいただき、愛すべき後輩達への温かい御指導・御支援を賜り、本校がますます発展していければ幸いと存じます。今後ともよろしくお願いたします。

随 想



「ネパール便り」

戒能恵子 (59回)



遅ればせながら新年のご挨拶を申し上げます。標高2,800mの高地では私のPCが開けないことをいいことにして、多くの方々に失礼をしています。私は健康を守られて新年早々に 後期高齢者 の仲間入りをしました。

定年退職後ネパールに移り住み15年間暮らしたカトマンズを離れ、現在は北部ムスタン郡ナウリコット村で生活しています。毎日何をしているかと言えば、週3日は村の学校で、2日は隣村で、14、15、16歳の少女

たちに洋裁の手ほどきをしています。洋裁と言っても、まずは自分のハンカチや雑巾縫いから始め、次は巾着袋と進み、2年間の最後にはブラウスとベストを縫い上げました。出来上がりはひどいものですが、自分の手で何かを作り上げる喜びで、少女たちは熱心に出席しています。

朝は夜明けと共に起きだし8,167mのタウラギリの朝焼けを拝み、お昼には出発し6時過ぎに戻ってくると言つ毎日です。出掛ける前にはしっかりと腹ごしらえをしなければなりません。なぜなら帰途に200m余の山道があるからです。お陰で大変健康的に過ごしています。

日曜日には、川向うの20人にも足りない小さな小学校に出掛け、紙芝居や絵本を読み聞かせて衛生教育のようなことをしています。

2月初旬にネパールに戻ります。が、当分はカトマンズで縫製作業所に通うこととなります。この縫製作業所は15年間一緒に働いたネパール族の女性に譲ったのですが、世界的不況でマーケット開拓が困難でした。しばらくは販売面を助けなければなりません。現在5人の女性が働いていて、主な製品はバッグやポーチなどの袋物の他、着物のリメイクが中心です。長らく筆筒の肥やしに

なっていた良質の絹地を譲り受け、チュニックやワンピース、コートなどに仕立てています。販売先を求めています。もし関心がある方がいらしたら、声を掛けて下さい。

私の今年の課題の一つは、ムスタン郡の学校の後継者探しです。2つの学校にはインド製足踏みミシンをそれぞれ5台ずつ、その他の洋裁道具も揃えてあります。私の部屋には布団、鍋釜、食器など生活用品はほとんど揃っています。洋裁の知識もそんなに高度なものも必要ありません。私は定年退職後に洋裁学校に通って学んだだけです。ネパール語は必要ですが、文章の語順が日本語と同じですから、そんなに難しくありません。窓からは毎朝タウラギリ山頂がオレンジ色に輝く姿が望めます。朝食はナウリコット村特産の蕎麦粉クレープです。自薦他薦をお待ちしています。

ちよつと旅

塩崎琿恵 (64回)

那覇空港は雨催いだつた。東シナ海から吹く風がこの季節は特に強いという。飛びそうな帽子を押さえて、タラップを降りる。様々な言語の飛び交う中を到着ゲートへ。夕暮れの灯点る街。お決まりの長い街路を経てホテルまでタクシー。やっぱり少しあつたかい。

夜は知らない名前の魚ばかりを提供してくれる料理店を友人に紹介してもらおう。

次の日はホテルの前にいたタクシーで観光ということになり沖縄の南、知念半島を巡る。世界文化遺産斎場御嶽(せーふあうたき)は琉球開闢伝説にあらわれる琉球王国最高の聖地である。はるかなる琉球王国の時代国王や閻得大君の聖地巡拝の行事に思いを馳せながら、拝所の彼方の神の島久高島に手を合わせた。こういう場所になると確かに人の精神性は高まるに違いない。ガジュマルの根が石を抱えるように、人の思いはつつまれるようである。

序に日本で二番目という鍾乳洞へ行く。玉泉洞と名付けられたこの地の水の碧さは特別である。島の周囲は勿論海。確かに碧い海だつた。

三日目。首里城のふもとの金城町石畳の道歩く。そこにも庶民の祈りの場、祈りの木が存在した。間違はなくこの島は祈りの国である。語り部が木の側で子供たちや若い母親たちにその祈りの成り立ちを語り伝えていた。

石畳の道をずっと上っていくと城に至る。めんそーれ。城には守礼門に始まる11の門が存在する。守礼門はぐるぐる場所によって三つの入口があり、そこも自分の祈りに従ってぐるぐるのどか。本土の城も高所にある、石の組まれている道を登っていくと正殿に至る。最も首里城は先の大戦で焼失してしまい、今の建物は再建されつつある未だ半ばの城であ

住まいのエキスパートナー



代表取締役社長 河野通則 (81回)

〒794-0028 愛媛県今治市北宝来町4丁目2番地5 TEL(0898)31-5511代 FAX(0898)31-5514 松山・宇和島・大洲・西条・四国中央・多度津

る。しかし何年か以前に訪れた時の塗料の色よりは赤が落ちていた色彩になつていた。寢殿造りのような中庭を巡る建築様式と中国の宮殿様式を思わせる装飾が琉球王国の辿つてきた運命そのもののような気がした。首里城は琉球王国の栄華の証なのである。

四日目。最も沖縄らしいところと思ひ、那覇の台所、第一牧志公設市場へ。ゆいレールに乗ってみる。高い所から見ると空は広く、海は碧い。海ぶどうとサーターアングギーを食べ、ソーキそばとアグー豚を食し、満腹。壺屋やちむん通りでとんぼ玉を記念に買った。最後はやつぱり国際通り、ぶらぶらおのぼりさん。毎日よく歩くので夜はぐつすり。次の日五日目機上の人となり帰西した。沖縄は人も生活のリズムもゆったり感じられた。神戸に帰ってみると急にせかされているような気になつた。時々旅をするのは必要だ。日常から離れることで日常をより密接に省みる事ができるのではなからうか。



ソフトボールに感謝して
久門篤志(82回)



私は西条高校の第八十二期生であり、現在は愛媛県立松山工業高校に体育教員として勤務しています。高校時代の友人たちには、今でも「篤志が先生?(笑)」と茶化されますが、私が教員になつたことは、当時の私を知る人にとって驚きであり、私自身もソフトボールとの出会いがなければ、今の自分ではなかつたと思いません。

三十五年程前、私は希望を胸に西条高校へ入学したものの、入学当初の目標を見失つてしまい、物事を途中で投げ出した上、それを人のせいにしてしまうという荒れた時期がありました。よくある落ちこぼれの生徒だったので。それでも、家族や

友人の温かい支えがあり、何とか無事高校生活を終えることができました。しかし、この高校時代のつまづきには、五十歳を過ぎても自責の念が残っています。

その後、体育・スポーツについて学びたいという理由から、日本体育大学に進学しました。そこで心機一転、ソフトボール部に入部することにしたのです。大学生活は、今まで生きてきた中で一番過酷だったように思います。(「ああもうだめだ」と思ったことが何度あったことやら。)今とは違い、昔は当然、痛い思いをしたり理不尽な扱いを受けたりしました。しかし、高校時代のつまづきや家族の愛情が、自分の心をひと回り成長させてくれていたようで、四年間、逃げずにやり抜くことができました。耐えること、諦めないこと、皆で前向きに目標に向かう楽しさなど数多くのことを学び、人間としての強さを身に付けることができました。そして、高校時代は落ちこぼれだった私が、大学では主将を務め、ソフトボールをきつかけとして教員になるという、考えてもみなかったことが起こつたのでした。

今年で教員生活二十八年、あつとつという間の時間でした。現在是最愛の妻と三女に恵まれ、充実した毎日を送っています。ソフトボールに出合い、育ててもらいながら三十五年、今もソフトボールに携わらせていただき、感謝に尽きません。その上、二年前には部員たちからインターハイ優勝という贈り物もいただきました。

した。このような私にできることは、自分の勉強してきたことを生徒に伝えることだと考え、日々奮闘しています。

そして、ソフトボールに携わっておりますと、西条高校女子ソフトボール部の活躍をよく耳にし、同窓生としてはうれしい限りです。三年後には愛媛国体もありますので、さらに上を目指して、文武両道で頑張ってもらいたいと思っております。

最後になりましたが、この度は執筆の機会をいただき心から感謝申し上げます。皆様のご健康とご活躍をお祈りいたします。

西 条 金 融 協 会

- 伊予銀行 愛媛銀行 愛媛信用金庫 東予信用金庫
- 百十四銀行 広島銀行 香川銀行
- 西条市農業協同組合 四国労働金庫

「やってみよう！」

川口佐智 (94 回)



わたしは、新しいことをすることがあまり好きではありませんでした。小学校の入学前に「小学校へは行かないって言ったでしょ？」と入学を拒み両親を困らせたのを皮切りに、中学校、高校、大学進学等、それまでと環境が変わることが不安でしかたなく、いやだいやだと愚痴を言い、毎度両親から発破をかけられて送り出されていきました。徐々に慣れてくればそこが一番楽しい場所に変わってくるので、単なる出不精なだけかもしれませんが、「日本から出ないし」と英語が不得意な言い訳をし、「現状維持」に逃げ込んでいました。

しかし、そんな私に突然の転機がやってきました。外務省へ出向し、中国の広東省にある在広州日本国総領事館へ赴任の人事異動を言い渡されたのです。それまで海外旅行もしたことがなく、もちろん中国語も話せません。東京での3か月の研修の後、平成24年4月、それまでと最大に違う環境での生活がスタートしました。

中国の南に位置する広東省は、亜熱帯気候で夏が長く高温多湿。面積は日本の約半分、人口は省別第1位の約1億430万人、1970年代末の「改革・開放政策」と共に急速に経済発展し、経済特区等の政策や香港と隣接しているという地理的条件を生かした外資導入によって、中国一の経済都市となっています。日本企業も組立加工に加え中国国内外を市場とする家電・電子機器産業や自動車産業、食品業など約2,000社が進出し、18,000人の日本人が暮らしています。その広東省の省都である広州市は日本以外にも外国人が多く居住し、高層ビルが立ち並ぶかなりの大都会でした。

中国での生活は、なぜ？と、なるほど！の連続でした。国の成り立ちや歴史が違えば、当然生活習慣や気性や考え方も違います。同じ中国の中でも省によって料理や言葉まで全く違います。初めは日本との違いに戸惑いましたが、なぜ違うのかを発見すると、その物に対する見方も変わりました。日本では出不精でしたが、たった2年しかないのだから

と、積極的に外に出る努力をしてみました。中国で出会った友人も色々なところに私を連れ出してくれました。中国語も習ってみました。一人で出かけて、途中でくじけて引き返すこともありましたが、行ってみなければ、やってみなければわからないことが沢山あり、やってみれば、それほど不安なことも難しいこともない、と学びました。

帰国して、もうすぐ1年がたとうとしています。心配性は相変わらずですが、少しでも自分の殻を破るための一歩踏み出す努力をしたと思います。

まだ、帰国したら、やってみよう！と思っていたことは何一つできていない状況ですが…。

夢に向かって

武智隆祐 (99 回)



今、私はオーストラリアのパーズという街で大学の教員をしています。高校の頃の私を知る友人たちは、「あの勉強嫌いの武智がなぜ？」と思うかもしれませんが、人生何が

起こるか分かりません。確かに勉強はあまり好きではありませんでしたが、英語だけは唯一好きな科目でした。子供の頃から、映画や海外のテレビドラマを見て「あんなふうに英語が話せて、海外で暮らしたいな」と、漠然と思うことはありました。

それでも、大学2年のときに姉の結婚式でハワイに行くまで海外旅行の経験すらなかった私には、まさか外国に永住することになるなど、まるで想像もつきませんでした。

一番大きなきっかけになったのは、大学の4年生で行った1年間の交換留学でした。この間、私は必死で英語の勉強をしました。大学の図書館に毎日通い、夜遅くまで何冊もの本を読んで、閉館時間になって職員に追い出されることもしばしばありました。それと同時に、昼間はとにかくオーストラリア人と話しました。友達は勿論のこと、学内にあるパブで隣になった人とも、バスでまた隣の席に座った人とも、ひたすら喋る努力をしました。そうする内に、1年後にはネイティブに間違われるようになっていました。そして、いつしか私はこのパーズで暮らし、言語だけでなく文化や人柄など色々なものを吸収したいと思うようになったのです。世界一住みやすいとも言われるパーズの人々は、本当にのんびりしていて楽観的で、とてもフレンドリーです。「no worries (心配するな)」というのが口癖で、みんな何があっても寛大に受け入れられる気質を持っています。いつか



代表取締役 山地 良太 (98 回)

住 所 西条市神拝甲 1 4 5 - 1
電話・FAX (0897) 53 - 0098

自分も本質からそんなふうになりた
い、と思うようになりまし。1年
間の交換留学を終えて帰国した私
は、大学院修士課程に進学し、研究
に没頭するとともに英語の勉強にも
努めました。この間、幸運にも幾度
かの国際学会での発表や数本の論文
を出版することができたおかげで、
修士課程修了を間近に控えた2年生
の1月、パースの大学から博士課程
のための授業料と生活費を全て支給
するというオファーをもらいまし
た。私はこの信じられないようなオ
ファーに飛びつき、パースで3年半
の博士課程を修了した後、そのまま
大学教員として就職したので。現
在は、アルツハイマー病の原因解明
と治療法の開発のために、毎日研究
に勤しみつつも、友人たちとパース
の美しい海でサーフィンをしたり、
美味しいオーストラリアワインを飲
んだり、子供の頃に漠然と夢見て
いた暮らしを満喫しています。

ここでは語りつくせませんが、こ
の15年間、本当に様々なことがあり、
色々な人に助けてもらって、現在の
私の生活があります。そのうちのど
れ一つが欠けても、私は今日パース
に暮らしていなかったと思います。
後輩たちや若い世代に伝えることが
あるとすれば、それはとにかく人と
の出会いを大切に、恩師や友人、
親に感謝しつつ、夢に向かって努力
し続けることです。その先にある幸
せは、それはそれはブライズレスで
あるということを私が保証します

「青年よ大志を抱け」
(少年)
(クラーク博士)
河田(近藤)雅代

今年度は西条高等学校創立百二十
周年を迎える大変意義ある年です
ね。この年に本校を卒業され、大学
に進学される優秀な一部の学生さん
に、私如き老婆からささやかではご
ざいですが、勉学の一端をお支えす
べく奨学資金として寄付を申し出た
次第でございます。

不肖私は、身寄りの少ない独居老
人で、終活の事は早くから考えてま
いりました。又その為の行動は各方
面に働きかけてまいりましたが、結
局いろいろな制約があり、実現不可
能となり、昨年夏頃からは体調も悪
く、八十八才という超高齢となり、
お迎え迄の時間も少なくなりまし
たので、高齢者のことは国におまかせ
することにし、現在、国では尤も不
足しております人材育成に、私の遺
産を使っていたり、私に神か
ら課せられた使命のように感じるに
到りました。

それと共に、西条高校にこだわっ
たことへの理由は、私が二才足らず
で死別した父親への孝行でもあり、
供養でもあると思いついたので。
私の父は、独り子の一人息子であ
りました。

それが志なけばに早世したので。
父は大正十年、この由緒ある西条

中学を卒業した二十一回生なので
す。教員をしておりましたが、国漢
の文検を取得したので。それはそ
れは言語につくせない程の猛勉強
だったと祖母から聞いておりまし
た。その足跡は父の残した高価と思
われる専門書が昔の長櫃二ツにぎっ
しりと詰め込まれていて、祖母は毎
年夏の土用には二ツの床几に積み上
げて土用干しをしていました。その
姿は今も私の脳裏に焼きついており
ます。

祖母は女手一つで一人息子を育
て、その昔の中学に上げた中々気丈
で厳し過ぎる人でしたが、毎年、泣
きながらその虫干しを私の知る限り
続けておりました。

祖母には父は何の役にも立たず、
収入は全てこの本だった訳で祖母と
してはこれが大切な財産だったので
しょう。

その父がいつも口にしていた言葉
が、「名を残すことの出来る人物に
なりたいたい」だったそうです。二十
五才という若さで肺結核を患い、この
世を去りました。さぞや無念であつ
たらうと思われま。

肺結核という当時は人に嫌われる
病気だったので私達の母親は父の病
臥中実家に引き戻され私達兄弟は両
親の顔も知らず、厳し過ぎる祖母に
育てられました。

明治も初期生まれの祖母でしたか
ら私は儉約に育てられましたので今
も身についております。

お一人お一人には少ない額とはな
りますが、今年度を含めこれから先

に続く学生さんも無駄使いはせず勉
学に使っていただきたいと思ってお
ります。

昔、西条中学を卒業した人々は皆
さん私の父のような大志を持ってい
たに違いありません。

現在の石崎校長先生は、十河信二
先生の功績に触発され西条高校の校
長を引受けられたというお話しをお
聞きしております。

大先輩十河信二先生の後継に続く立
派な人材となれんことを願いつつ
この拙文を捧げたいと思いました。



西条国際ホテル

〒793-0030 西条市大町771-1
Tel(0897)56-4800 Fax(0897)55-4244
URL <http://www.shikoku.ne.jp/saijo-kh>
E-mail saijo-kh@shikoku.ne.jp

創立120周年記念事業



愛媛県立西条高等学校は、平成28年4月をもって創立120周年を迎えることとなりました。

明治29年(1896年)4月、愛媛県尋常中学校東予分校として創設され、西条市本町の仮校舎で開校して以来、長きにわたり東予育英の本拠地としての役割を果たしてまいりました。

120周年の節目に当たり、更なる教育環境の整備、充実を図るために、『愛媛県立西条高等学校創立120周年記念事業期成会』を結成し、下記の記念事業計画遂行のため、昨年12月より募金活動を開始いたしました。

募金状況は3月末現在、納入者数約1,700名、金額660万円で目標額の4分の1という大変厳しい状況です。会員の皆様には、現況をご理解いただきまして、出来る限り複数口でのご協力(再度のご協力も)をお願いいたします。

お手数ですが、募金は、直接事務局へ持参するか下記口座へお振り込みをお願いします。

連絡先: 西条高校道前会 TEL:0897-53-2192

1 記念事業計画

- (新)体育館の緞帳新調
- (新)体育館用パイプ椅子購入
- 体育館用収納プレハブ倉庫購入

郵便振替口座	01610-0-132737
伊予銀行	西条支店 普 3765237
愛媛銀行	西条支店 普 4178147
愛媛信用金庫	西条支店 普 0217221
名義: 西条高校創立120周年記念事業期成会	
(名義は共通) 会長 村上 俊行	

2 募金要綱

募金目標額 2,250万円
 1口 3,000円(何口でも可)
 募金期間 平成27年9月30日 まで

東予信用金庫	西条支店 普 0262689
名義: 西条高校創立120周年記念事業	
会長 村上 俊行	

120周年記念事業関連の催し

記念式典 11月5日(木): 西条高校

記念文化祭 11月6日(金): 西条高校

平成26年度一般会計決算報告書

平成26年4月1日～平成27年3月31日 単位 円

収 入

Table with 5 columns: 科目, 予算額, 収入額, 増 減, 摘 要. Rows include 前期繰越金, 会 費, 入 会 金, 手 数 料, 広 告 料, 雑 収 入, 合 計.

支 出

Table with 5 columns: 科目, 予算額, 支出額, 増 減, 摘 要. Rows include 総 務 費, 需 用 費, 通 信 費, 旅 費, 人 件 費, 事 業 費, 会 議 費, 総 会 費, 予 備 費, 合 計.

収支差引額 収入額 9,816,214 - 支出額 7,794,282 = 繰越額 2,021,932

平成27年度一般会計収支予算書

平成27年4月1日～平成28年3月31日 単位 円

収 入

Table with 5 columns: 科目, 予算額, 前年度予算額, 増 減, 摘 要. Rows include 前期繰越金, 会 費, 入 会 金, 手 数 料, 広 告 料, 雑 収 入, 合 計.

支 出

Table with 5 columns: 科目, 予算額, 前年度予算額, 増 減, 摘 要. Rows include 総 務 費, 需 用 費, 通 信 費, 旅 費, 人 件 費, 事 業 費, 会 議 費, 総 会 費, 予 備 費, 合 計.

平成27年度事業計画書

会報の発行（第23号は平成27年6月1日発行予定）
支部活動への助成並びに同期会開催等への支援・協力（資料作成等）
卒業生へ記念品の贈呈（卒業証書ファイル・道前会賞）
新入生へ絵葉書の贈呈
生徒の全国大会出場へのお祝い（高体連・高文連主催、国体等）
文化祭における在校生への啓発活動（道前会コーナーの開設）
文化部発表会の助成
創立120周年記念事業について

平成26年度積立金会計決算報告書

平成26年4月1日～平成27年3月31日

Table with 2 columns: 項目, 金額. Rows include 前期繰越額, 当期積立額, 当期取崩額, 次期繰越額.

平成26年度全国大会出場祝基金 会計決算報告書

平成26年4月1日～平成27年3月31日

Table with 2 columns: 項目, 金額. Rows include 前期繰越額, 当期積立額, 当期取崩額, 受取利息, 次期繰越額.

平成26年度末財産目録

平成27年3月31日 単位 円

Table with 2 columns: 項目, 金額. Rows include 預 金, 資産合計, 内 任意積立金, 全国大会出場基金, 百二十周年積立金, 一般会計繰越金.

監査報告書

適正な会計処理・報告がなされていると認めます。
平成27年4月13日

会計監査

徳 増 達 史

会計監査

秦 敏 明

会計監査

加 藤 正 典

平成26年度会務報告

平成26年

- 4月8日(火)平成26年度入学式
4月9日(水)平成25年度会計監査
4月16日(水)理事会
4月30日(水)評議員会
6月7日(土)近畿道前会総会
6月8日(日)東海道前会総会
6月21日(土)東京道前会総会
6月21日(土)岡山道前会総会
6月25日(水)理事会
6月28日(土)今治道前会総会
6月30日(月)創立120周年記念事業期成会発足式
7月23日(水)理事会
8月13日(水)芸術文化発表会
9月3日(水)運動会
9月10日(水)理事会
9月25日(木)西条高校文化祭(道前会コーナー)
10月22日(水)理事会
11月9日(日)松山道前会総会
11月19日(水)理事会
12月17日(水)評議員会・忘年会
平成27年

- 1月21日(水)理事会
2月16日(月)市役所道前会総会
2月18日(水)理事会
2月28日(土)道前会入会式
3月1日(日)平成26年度卒業式(第115回)
3月18日(水)理事会



支部会だより

東京道前会

幹事長 明比 章 (70回)

東京道前会便り

平成26年度の総会は、6月21日(土)11時より、昨年と同じく明治記念館において開催されました。

梅雨とは思えない晴天が続いた当日、約150名の方々に参加していただきました。

来賓として母校からは石崎校長先生、本部からは村上会長、また、西条市の真鍋副市長、東海道前会から渡部副会長、近畿道前会から園子幹事長の来臨を賜りました。

総会は、東京道前会山内会長の開会の挨拶に始まり、来賓として石崎校長先生、村上道前会長にご挨拶をいただきました。また、真鍋副市長からは、西条市の現状やうちぬきクラブの紹介などのお話がありました。

続いて明比幹事長代理から会務報告、今井会計監事から監査報告などがあり、満場一致で承認されました。さらに退任及び新任の役員の紹介があり、新しく幹事になられた10名の方々の紹介がありました。

懇親会は、例年のように年の差が62歳開いた大先輩の三迫さん(52回)と最年少トリオの川戸さん、平木さん、真鍋さん(114回)の乾杯の音頭で幕を開きました。

食事が一段落したところでアトラクションとして、今回はソプラノ歌手工藤さん(83回)に登場していただきました。工藤さんは、小空間でのライブ活動や、合唱曲から本格的なオペラまで幅広く活

躍されています。その透き通った声にアンコールも含め、引き込まれるように聞かせていただきました。

今回も寺田運営委員長が会場を回って初参加の方を紹介し、次回以降の総会への参加者拡大に向けて頑張っていました。恒例の抽選会ではゲストの工藤さんにお手伝いいただき、くじを引いていただきました。そのたびに運の良さを喜ぶ人、無さをあきらめる人それぞれでした。

最後は恒例の中学校校歌に続いて、2名の応援団OBの指揮のもと、西条高校校歌と応援歌を元氣よく歌いました。本会の応援団長秋山さんは、今年もこの日のために赴任先の広島県からはるばる駆け付けてくれました。

締めくくりとして、近藤副会長の閉会の挨拶で、今年の楽しい総会の幕を閉じました。

その他の活動として、今年も母校の文化祭に和田運営副委員長と、大学生会員



の黒田さん(110回)が参加させていたいただき、特に高校生と年齢が近い黒田さんに、大学生の目から見た東京道前会の話をしてもらえたことは、高校生に対する東京道前会のアピールに寄与したものだと思えます。

東海道前会

副幹事長 長野達夫 (58回)

東海道前会活動報告(平成26年度)

1 平成26年度は総会開催年(隔年開催)であり予定どおり総会を開催した。

総会は平成26年6月8日名古屋駅前のカヤッスルプラザの間で、来賓3名、会員出席者26名計29名で開催された。

会長挨拶の後、来賓の西条高校石崎校長から、第2回卒業生である十河元国鉄総裁が在学中、大手門に地球儀を掲げ「西条中学生は世界に雄飛する国際人になれ」と檄を飛ばしたとの逸話の紹介があり、出席者一同も寡聞のこの逸話に感慨を新たにしました。

また、東京道前会近藤副会長から、最近の道前会の活動について、個人情報保護や個人意識の高まりなどにより新規卒業生の居住状況把握の困難さ、およびこの打開策、在学中からの会への帰属意識の醸成とアプローチ方策として学校祭への広報実施のための役員参加などの試みが紹介され、当支部の運営や活動方向などに有意義な示唆を受けることができ、会員も得るところが大であった。

議事に先だって物故会員諸氏への黙祷を行った。

議事の中では新たな活動方向である、運営支援基金の募集と実施結果、会員へのアンケート事項の集計結果が重点的に報告された。

(1) 基金については、従来の活動費は道前会からの助成金年間5万円のみであり、このほとんどが総会開催費に充当されるため他の活動費は幹事役員の自費で賄って来たのが現状であった。

活動費の面から会の活性化を図るため、会員に対して支援基金募金の協力要請を行った結果、総会欠席者23名から56口(1口千円)の申し出があり総会出席者からも90口が寄付され一定の基金を得て活動支援金の基金とすることができた。

なお、今後も会費の徴収は行わず、総会時及び随時寄付によって基金の補充を行う方向で進めることとなった。

(2) アンケートによる「東海道前会会費発行」の是非については年次会費の徴収と連動することから、定期的発行はかなり困難ではあるが、アンケートによる賛同意見等も考慮し、不定期でも発行実施の可能性を探っていくこととした。

その他、会則の一部改正を行い、「道前会東海支部」としての位置付けをさらに明確にし、役員改選による新たな幹事を選任し、最後に全員で校歌を斉唱し終了した。

なお、この総会において、初めて現役大学生(名古屋大学生)の参加があり、支部総会参加会員が高齢化している中で、当支部運営への新たな息吹に期待を持つことができました。

次回からもこの流れを絶やさず、さらに大学生をはじめ、若年層会員の参加で若返りを図っていくことが期待される。

活動支援基金の寄付については、総会開催時の他、常時受け付けているので左記までご連絡いただきたい。

会計幹事 矢貫 延美(58回)
0568-77-9557
同 河端 睦子(62回)



祝!! 創立120周年 おめでとうございます

59回卒有志



0568・23・2337

2 平成26年5月28日(木)恒例の東海道前会親睦ゴルフコンペが10名参加により三好カントリークラブ東コースで行われた。今回も山路会長及び渡部副会長の紹介で格安な料金でプレーすることができた。

成績は優勝遠山利弘氏(65回)、2位伊藤定彦氏(70回)、3位渡部宏副会長(51回)であった。このコンペは会員なら誰でも参加でき、会の運営とは無関係に実施しており、毎年「良いゴルフ場を格安料金で」など出来る限り多くの方が参加できるように便宜を図っている。ご希望の方左記へご連絡いただきたい。

連絡先 伊藤新一郎(60回)
052・791・8508

3 総会后、今井幹事長が体調不全に陥り辞意を表明され、回復を待ったが辞

意が強いため、幹事会により、平成27年度から幹事長として名城大学法学部教授・硬式野球部長 浅木慎一氏(72回)を選任し、若返りを図った。

近畿道前会

幹事長 圖子洋志(69回)

近畿道前会 2014年度総会報告

2014年度の近畿道前会総会は、去る6月7日(土)、例年通りホテルグランプシア大阪を会場として、会員76名、来賓4名の出席のもと開催いたしました。総会は、岩崎副会長が進行をつとめ、開会宣言の後、物故者に対する黙祷から始まりました。本会にご尽力いただいた方々のお名前を聞くことは、寂しい限りでした。

総会は、三浦会長の開会の挨拶、ご来賓の方々を紹介、続いて道前会会長の村上俊行様、西条高校校長の石崎 学様からご挨拶をいただき、会務報告、会計報告、会計監査報告と進み、無事承認をされました。

また今回は、役員改選の年度であり、副会長を務めていただいた山地美智子さん、長年お世話いただいた幹事長の塩出雅さん、会計監査の加藤正司さんが、退任され、三役・幹事会において選出いたしました副会長・幹事長・会計・会計監査の氏名を発表し、出席者の皆様から満場の拍手で承認をいただきました。

新体制

会 長：三浦 東八(再任・61回)
副 会 長：高須賀和子(新任・61回)

岩崎 秀雄(再任・65回)

幹 事 長：圖子 洋志(新任・69回)

会 計：越智 研二(新任・65回)

会計監査：土岐 剛三(新任・58回)

なお、塩出、加藤さんの2名は、引き続き年度幹事で協力をいただけることに

なっております。引き続きよろしくお願ひいたします。

講演は、第40回(白菊会)卒業生で中国社会科学院哲学研究所教授、第7期中国人民政治協商会議全国委員、中国孔子基金合理事を務められた藤原素子さんに「2つの祖国に生かされて」と題して、お話をいただきました。

1953年(20代前半)に新中国に渡航され、60余年に亘る中国での生活で体験された事柄について詳しくお話をしていただきました。言葉の問題、結婚、子育てをはじめ想像を絶するご苦労がたくさんあったとのことでした。

1980年から1985年には、京都大学人文科学研究所へ留学をされ、この間、立命館大学・同志社大学嘱託講師を勤められたそうです。

1992年には新居浜市と山東省徳州市との姉妹都市提携に尽力をされ、更に同年西条市と保定市との姉妹都市提携に關しては感謝状を授与されたそうです。

1994年からは日本・中国間を往来し、学术交流ならびに両国の友好交流に尽力してこられました。記憶に新しいところでは、四国八十八ヶ寺を創られた空海和尚が、中国で修業したのは長安(現西安市)の青龍寺というお寺でしたが、青龍寺は衰退し、長い間埋もれていました。近年発掘されて青龍寺と確認されましたが、「寺」として認めない西安政府に掛け合せて「寺」として認め仏教活動や施設建設を認めさせるまでに尽力をされた話が強く印象に残っています。このように空海にゆかりの深い青龍寺に元四国霊場会会長が「ゼロ番札所」の栄誉を与えました。皆さん、空海ゆかりの地であるゼロ番札所に参拝されてはいかがでしょうか。

藤原さんは、2011年に西条市に書画100点を寄贈されました。

講演会後は、暫時休憩を挟み、懇親会へと移りました。懇親会は、新副会長の高須賀和子さんにリーダー役をお願いし、女性会員が中心となって進めました。

女性参加者最高齢の下野好子会員による乾杯の発声で懇親会がはじまりました。いつも通り、和やかな雰囲気です。話が弾みました。今回も西条市産業經濟部のご協力で地元の物産販売があり全商品完売の幕切れとなりました。

抽選会ではサンスター様のご厚意により、抽選会用に「サンスター製品詰め合わせセット」、総会出席記念品として手土産をご提供いただきました。また、本会場のホテルグランプシア大阪様からも抽選の景品をご提供いただきました。

参加者全員で校歌斉唱をし、前塩出幹事長の中締め挨拶をもって2014年度の総会はつつがなく終えることとなりました。



岡山道前会

幹事長 三浦賢稔(58回)

岡山道前会便り

平成26年度の岡山道前会総会は、6月21日に岡山市の「えきまえミヨシノ」において会員15名の参加のもと、母校から

コーヒー豆も挽き売ります。
企業様、学校への配達の相談に応じます。

西条市神押甲 276-1 1F 南 TEL / 0897-47-7751
営業時間 8:00~19:00 定休日 月曜

高橋教頭、本部から笹沼副会長の「出席をいただき開催しました。」

総会は、冒頭、この1年間に故人となられた方々に黙祷をして哀悼の意を表し、「冥福をお祈りしました。」

そして、菅会長の挨拶（私の属する書道会の今年のテーマは、「新進」であるが、当会の運営に当たってもこの心掛けで取り組みたい。）のあと、高橋教頭から

1、来年120周年を迎えること。
2、愛媛県の偉人伝が発刊され、その第一巻が当校の大先輩の十河信二氏である。

この中で、氏の逸話として、大手門に地球儀を掲げ「大手門をくぐる者は、世界を背負うべし。」と宣したと紹介されている。

120周年を機にこの言葉本校是にすることを検討していること。等のご報告をいただきましたとともに、西条藩陣屋の古地図の写真のご提供をいただきました。笹沼副会長から、

1、北御門の修復、移転が完了した。ご協力に感謝したいこと。
2、体育館改築中であるが、完成時に綴帳を寄贈することとし、この募金活動を行うので、ご協力ををお願いしたいこと。

3、在校生のイギリス留学に対する支援は、引き続き行うので、ご協力をお願いしたいこと。等のご報告をいただきました。議事では、議案は、原案どおりされました。

また、傘寿を迎えられた方の紹介と記念品（目録）をお贈りし、総会は終了しました。

このあと、懇親会に移り、高井克清氏（52期・傘寿）の乾杯の首頭で開宴し、会員の自己紹介と在校時の思い出と近況等の報告とともに、カラオケで懇親を深めたあと渡部明良氏（49期）の中締めで、来年の再会を約し閉会しました。

なお、岡山道前会は、平成27年に結成30周年を迎えますので、関係各位のご支援、ご協力を賜り、一層の発展を期す所存ですので、よろしくごお願い申し上げます。



松山道前会

会報部長 井原孝明（63回）

定時総会を開催

役員の変更などを承認

松山城が秋雨にけがれる日、平成26年度松山道前会総会が、11月9日（日）正午から東京第一ホテル松山で開催された。

総会には、会員73名、来賓として母校の石崎校長、道前会から山田順氏、遊口親の氏の両副会長、寺川和夫事務局長、明比昭治愛媛県議会議長が出席をいただいた。松浦事務局長（57回）の司会で開会、最初に青野治郎氏（49回）等物故者への黙祷を捧げた後、全員で校歌を斉唱した。

開会の挨拶で三浦晃会長（49回）は、「組織の活性化を図るため、役員若返りをと念願していたが、今総会でそれが実現した。また総会への参加を促す為、職員の役員が組織を活用して出席者の増加を図ってもらいたい」等を強調、今後の同窓会活動の協力を要請した。

次いで石崎校長は、大先輩の十河信二氏（第2回卒業）が大手門に地球儀を据え、「この門をくぐる者は将来世界を背負って立つべきである」と演説したことを説明した。その精神は、グローバルな人材が大切だ、このことを説いたものだと言われた。

山田道前会副会長は、来年度は母校創立120周年を迎える。来年3月1日、65回生を迎えるの記念行事がある。12月1日から募金活動を始めるので松山道前会の力強いご援助をお願いする、等の要請があった。

次いで明比県議会議長は、特に来年度の生徒数に触れ、「来年度の新生は、1クラスに減になる」との現況を述べ憂慮を表明された。

議事に入り、事務局の動き、収支報告、会則の一部改正、役員の変更を承認した。次いで藤本新会長のあいさつ、新役員紹介があった。その後、アトラクションとして『イギリス民謡と日本の歌（歌曲）』が演奏された。平井ありさん（ピアノ奏者）と井原孝明氏（ハーモニカ奏者）による「アニーロリー」等のイギリス民謡を演奏の後、石川智子さん（ソプラノ歌手）と平井ありさんとの共演で、「雨ニモマケズ」（宮澤賢治詩・井原孝明作曲）等が演奏され、会場

の雰囲気盛り上げた。卒業期別に配置されたテーブルでは、同期友輩の間で、ふるさと、友人の動向等、旧交を温め合った。最後に木藤義典氏（副会長68回）が会員同志の結束を確認し、「一本締めで総会を閉じた。」



道前会西条市役所支部

幹事長 秋山隆功（73回）

道前会西条市役所支部便り

西条市は、昨年の11月に合併から丸10年を迎える中、これまで、人が集い、まちが輝く、快適環境実感都市の実現のために種々の施策を講じ、まちづくりに取り組んでまいりました。

その結果、四国屈指の製造品出荷額を生み出す工業集積地となり、また、本年1月には本市の強みである農業生産力と工業集積を生かした地域再生計画が国の地方創世モデル事業に認定され、四国経済を牽引する「総合6次産業都市」の実現に向けた取り組みが新たにスタートしました。

さて、当支部は、平成26年度総会を、平成27年2月16日、西条国際ホテルにおいて開催しました。当日は、来賓として道前会から村上俊行会長、

寺川和夫事務局長、学校から石崎西条高等学校校長のご臨席を賜り、総会では、26年度事業報告及び決算報告、27年度事業計画案及び西条高校創立120周年記念事業の寄付金を盛り込んだ27年度予算案を承認・可決し、役員改選では真鍋和年会長（66回）を再選しました。

また、懇親会では、世代を越えて和気あいあいと親交を深め、最後に、全員で校歌を熱唱して閉会しました。校歌を歌った時、当方が思い出され、なつかしく思ったのは私だけではない、なつかしく思っています。会員同士は勿論のこと、支部と母校との絆は一層強まったと感じています。

このところ、我が国の経済は、好循環が指摘されているものの、我々を取り巻く地域経済は、原材料価格の高騰や消費税率引き上げ等による影響から、まだまだ停滞感を払拭しきれない状況にあります。本市は、市民の安全・安心な暮らしに資する防災・減災対策を重視しながら、外への積極的な情報発信、市民活動の活性化、地域再生計画の実施等に取り組む「和・輪・話・笑（わ・わ・わ）」の精神のもと市民総参加の協働により、誰からも「住んでみたい」、「住んで良かった」と思われる最上のまちづくりに邁進していきます。



同窓会だより

「シルバー世代ますます元気！」

赤星光毅（59回）

8月20日（水）に西条高校第59回卒業の同窓会を開きました。久しぶりの開催でもあり、シルバー時代突入の開催でもありましたので、参加者の数が心配されましたが、67名（男性33名、女性34名）の参加を得、懐かしさいっぱい、楽しさいっぱいのに会になりました。

午後3時半に母校大手門前に集まり、記念の集合写真を撮影後、会場の国民休暇村に移動し、玄関前で写真をとりと、全員会場に移って着席、司会進行役の川原光明君・土野裕子さんの合図で会がはじまりました。

まず世話人代表の赤星より卒業後の56年間に亡くなった69名の仲間の冥福を祈り黙祷をさげた後、開会式のあいさつになりました。その後、森隆雄君の乾杯の音頭で、にぎやかに楽しい宴会がはじまりました。

続いて万条克己君と河端博君のCDの説明や訴えをはさんで、松本直臣君のお別れのあいさつ、高橋大輔君のお礼のメッセージと続き、一段とにぎやかな宴へとなっていました。途中、仲良し同志のスナップ撮影や、懐かしいアルバムに見入り、当時の話で盛り上がりたりして、楽しい時間はあっという間に過ぎていきました。最後に全員で校歌、応援歌、高校3年生を合唱し、堀江公一君の閉会のあいさつでまたの出合いを約束して、名残惜しい会

を終了しました。

さて、同窓会終了後、「大変お世話になりました。」「ありがとございまして。楽しかったです。」「等、感謝の言葉をたくさんいただきました。

世話人一同「よかった、よかった。」「と大いに喜んでいきます。その中に、「またの出合いとはいっぞ。」「わしら、私らの元気なうちにやれ!」という声がたくさんありました。

その声にこたえて、早速相談しましたところ、今回は、今年（平成27年）7月11日（土）と12日（日）に、京都で開くことになりました。一日目、京都聖護院、御殿荘で同窓会（夕方から）、



二日目午前中、京都見物後に「貴船」に行き川床料理で昼食の後解散という予定にしております。

今回は、名古屋・阪神方面の五九衆の皆さんにお世話していただくことになりました。

皆さん感謝と共に、たくさんの方に参加してくださいませ。

61回同窓会

三浦東八（61回）

第61回卒業生の同窓会を2014年11月16日（日）～17日（月）の両日、兵庫県の有馬温泉、有馬ビューホテル「うらら」で開催しました。前回は2011年3月1日に現役3年生の卒業式に同席させていただきました、引き続き同窓会を開きました。その席上で次回は関西で開催しようということになり、今回の同窓会に至ったものです。

私達は概ね3年毎に西条、関西、関東と場所を変えて同窓会を行ってきました。有馬温泉はご存知のとおり、白浜温泉、道後温泉とともに古代より日本三古泉として親しまれ、関西の奥座敷ともいわれています。

当日は、夕方からの開催予定にもかかわらず午後2時から待ちきれない面持ちで三々五々会場に集まって来られました。70歳代の高齢者となりまたご家庭にもいろいろ事情のあるなかで、北は北海道、南は九州まで遠路をもとめず実に51名の方々が参加されました。

懇親会が始まるまでの間、有馬温泉の町並みを散策したり、懐かしい旧友を見つけ口ビーでその後の様子を語り

合う者、思い思いに時間を過ごしました。

懇親会に先立って賑やかに記念撮影をして宴会に移りました。懇親会は世話人代表である松本和行さんが司会役を担い、地元を代表して私三浦が歓迎の挨拶そして遠路北海道から駆けつけた大館新二さんの乾杯の発声で華々しくスタートしました。途中、女性世話人が中心になってくじ引きなどのアトラクションで楽しみましたひとりひとり短時間の近況報告を行い、爆笑する場面もありました。限られた時間の中で皆さんが50数年前の高校時代に足り、西条弁が飛び交い時間が足りないくらいでした。



祝 創立120周年
感動をありがとう!!
卒業50年を記念して 65回卒業生一同



懇親会終了後は、有馬温泉の有名な金泉、銀泉の入浴を楽しむ人、カラオケに興じる人、長い間の空白を埋めるように会話に没頭する人、夜が更けるのも忘れるほどでした。

心配していた天候にも恵まれ、美しい紅葉、六甲山から見下ろす神戸や港の風景を思う存分楽しんでいただけたいでしょう。

「今回は、関東で開催しよう、それまで元気で！」と再会を誓い合っ有馬温泉を後にしました。

最後になりましたが、今回の同窓会開催に際して、世話人の皆さん特に女性世話人の方々には準備から当日のお世話まで大変ご苦労いただきました。あらためてお礼を申し上げます。

あれから五十年

曾根康代(65回)

「第六十五回卒業」繋がる絆

第百十五回卒業証書授与式がひうち体育館において挙行され、卒業五十年目の第六十五回卒業生が卒業式に参列しました。卒業式はブラスバンドで始まり、透き通るような歌声、答辞には親や恩師への感謝の言葉、未来へ羽ばたかこうとする決意、昔と変わらない純粋な一生懸命な姿に胸打つ思いです。伝統を重んじ品格ある厳肅な式典では、卒業生の一人ひとりに未来への夢を託し、門出を祝福しようとする温かな気持ち、会場全体隅々まで広がっています。充実した教育環境で学び、育んできた

個々の成長は、堂々とした一挙一動に表れ、これからの日本や世界で活躍し躍進できる人にと願ってやまない思いがしました。

私たちは、その時代、入試や進路の関係で卒業式に参加できなかった者も少なくありません。大手門をくぐって共に励んだという思いがオーバerrラップし、目を閉じ、じつと天を仰ぐ者、涙を拭く者、背筋を伸ばし聞き入る者、様々な思いが去来して感慨深いものがありました。「不易流行」いつの時代にも決して変わることのない故郷や母校への想い、人と人の絆、歴史と伝統は引き継いでいつてもらいたいものです。

平成十二年、ある一人の理事の発案で始まった卒業五十年招待も恒例になりました。「卒業五十年 そんなの あるの」皆様から羨ましく言われます。この日を健康で若々しく迎えたい。願いであり、縁を深くする素晴らしい一日です。後輩の祝福は勿論ですが、校長先生の式辞の中の、「生涯青春と言え人生を」私どもへのエールであり、今日が出発のようないがしました。西条を故郷とし、西条高校を母校と言え私たちは幸せです。そして、同級生一同により、新体育館への校歌額を寄贈できましたことも大きな喜びであります。

式典後、舞台は国際ホテルに移りました。「よう帰ってきたね。」ほやけんの「え」西条弁が飛び交う同窓会が、青野勤先生、白木孝昌先生、秋川暢宏先生をお迎えして九十三名で笑顔いっぱい和やかに始まりました。共に過ごした時

間を取り戻したように、若く見える方・年相応の方・深く恩師に間違えそうなる方もみんな同い年です。秋川先生の指揮のもと校歌やふるさとを合唱、青春の日々にタイムスリップ。元気に出会えたことを喜び、和気あいあいと親交を深め盛り上がっていました。

高度成長時代、世界の中の日本を目指して羽ばたこうとしたあの頃、その源になった意欲や行動力はこの仲間が育っていました。時の過ぎるのも忘れて楽しい夢のようなひと時を過ごすことができたと感謝をしています。

今回の卒業式へのご案内やさまざまな準備をして頂きました西条



高校や道前会事務局の方々には大変お世話になりました。心から厚くお礼を申し上げますとともに今後ますますの母校のご活躍・ご発展を心よりご祈念申し上げます。

第71回卒(七一会)

同窓会報告

大村嗣信(71回)

平成27年1月2日、西条国際ホテルで5年ぶりに七一会を開催しました。

七一会は25年前に第1回目が行われ、その時5年毎に会を実施し、会長は毎回交代しようという事が決定されました。私が6代目会長でお世話者19名と共に今回の会をお世話させて頂きました。

当日は来賓として近藤金四郎先生、五百木達治先生、加地音先生、3名の恩師の先生方が来てくださり、総勢67人でした。

先生方の久しぶりにお聞きする懐かしい声での御挨拶の後、石原高行前会長による乾杯の首頭で楽しい宴に入りました。

卒業して44年、この会に毎回出席している人もいれば今回が初めてという人もいます。

最初会った時は名前が分からないという事もありましたが、暫く話をすれば高校時代の姿が蘇って本当に楽しい一時を過ごさせてもらいました。

今回の七一会の案内は往復八ガキで出欠の返事を貰いましたが、

その中に参加したいがいつも1月2日なので仕事がある、家族で旅行するので参加できない...祭りにすれば...等々いろいろなるコメントがありました。

次回開催は時期、場所等やり方を一度見直してみる事も必要かなと考えさせられました。

最後にこの紙面をお借りして今回世話人をして頂いた方に感謝申し上げますと共に、七一会の皆様にお詫びと訂正をさせて頂きました。

七一会の写真を送った時に5年後に会いましょうと書きました。6年後に卒業50周年で71回卒業生が卒業式に参加させて頂けるという事です。

そこで今回は特別に、3年後の平成30年に実施しようという事になりました。

3年後、岡田武雄新会長の下で元気で会いましょう!!



本部及び各支部役員

一、本部

Table listing members of the main department (本部) including roles like 会長, 副会長, 理事, and contact information.

二、支部

Table listing members of various branches (支部) such as 近畿道前会, 東海道前会, 岡山道前会, and 松山道前会.

母校に立つ同窓教職員. A section listing former teachers and staff members with their names, graduation years, and subjects.

Table listing members of branches like 今治道前会, 定時制道前会, and 西条市役所道前会.

体育館用校歌額の寄贈



サイズ:5,000mm x 1,550mm
板面:アルミ複合版3mm
骨組:アルミ30mm角枠組み
4辺アルミアングル加工

今回卒業50年を迎えた65回生から新体育館舞台左側に校歌額を設置していただきます。

母校に原画の寄贈!!



平成27年3月に竣工した(新)体育館のステージの縦帳のデザイン画に、フランス在住

の日浅和美氏(63回)から無償寄贈いただきました。題名は、私の内なる石鎚です。
11月5日の記念式典で御披露目をします。
すばらしい作品を是非、鑑賞してみてください。

第3回イギリス・スタディツアー

2015.3.21~30 実施 理数科・普通科19名参加 西条高校理数科長 園部 孝行



イギリス・コンウォール地区ボーイスカウトとの交流の様子 2015.3.28

いつも温かいお言葉やご協力に対し、道前会の皆様に厚く御礼申し上げます。今回、新たに、イギリス南西部のコンウォールという街を訪れました。市之川鉱山の未来を考えるため、すでに世界遺産に登録されているコンウォールの鉱山跡地を見学し、鉱山関係者約40名の前で市之川

鉱山の発表を行いました。また、現地ボーイスカウトから温かい歓迎を受けました。今後、現地トウローカレッジへの訪問や共同研究を計画しています。

お悔やみ



さる平成27年2月12日に、(前)西条市長の伊藤宏太郎氏(61回)が、ご逝去されました。

市長在職中は、西条市の有する地域的優位性、合併により、もたらされた豊富な資源・重厚な産業基盤などのポテンシャルを最大限に発揮すべく、「人づくり」と「しくみづくり」に取り組みました。
ご冥福をお祈り申し上げます。

H26年度 寄附金芳名録

曾 我 冬 人(77回)(フジワラ化学)
65回卒業生有志一同

寄贈図書目録 H26年度

中国書畫作品集

著者名 日本國愛媛縣西條氏所蔵
藤原 素子(女40回)より

「邪馬台国」伊予の愛媛西条説 3冊

著者名 いよのいし 出版社 (株)文芸社
いよのいし(59回)より

労働金庫 勤労者自主福祉金融の歴史・理念・未来

著者名 三村 聡 出版社 金融財政事情研究会
三村 聡(78回)より

夜明けの詩 あの大空へ

著者名 立歩人 出版社 (株)アイティ企画
浅井 健二(68回)より

平和と自由を希求した人 -愛媛における新渡戸稲造・矢内原忠雄・乗松雅休・安藤正栄らの足跡-

著者名 遊人親之 出版社 愛媛新聞サービセンター
遊口 親之(62回)より

お知らせ

行事開催予定欄

なるべく多くの会員に同期会や同級会に御出席いただくため会報に行事予定欄を設けました。開催を予定している行事がありましたら早めに事務局まで御連絡ください。

なお、同期会などの開催のための案内状などの発送を事務局ではお手伝い致します。お気軽に御相談ください。

50年目の卒業式

会員の皆様卒業されて50年目には、後輩の卒業式に御出席いただきまして、晴れやかに集立ち行く生徒

道前会総会の予定

月 日 11月7日(土)
場所 ベルフォーレ西条
講演講師 未定

この卒業式は66回の卒業生が該当します。是非御出席ください。改めて、案内状を差し上げます。
連の門出を祝していただきたくお願いしております。西条高校第116回卒業式が平成28年3月1日に挙行される予定です。
総会の案内は改めてホームページ及び評議員を通じて行います。多くの方のご参加を期待しています。